

JCwave

Hamamatsu [はままつJCウェブ]

温故
創新

笑顔溢れるまち
浜松の創造



2010
Vol.1

社団法人浜松青年会議所 広報マガジン

ホームページもぜひご覧ください!

浜松JC

検索

<http://www.hamamatsujc.or.jp/>



事業紹介

笑顔溢れるまち
浜松の創造

新年賀詞交歓会



2010年 浜松青年会議所役員(キャビネット)



事業紹介

2010 HAMAMATSU JUNIOR SHIP
はままつ少年の船

献血推進活動

公開例会

次世代創造フォーラム2010
～夢を叶える7つの法則～

わんぱく相撲



対談

株式会社加賀屋 取締役副社長

2008年度 社団法人日本青年会議所 第57代会頭

小田與之彦

2010年度 社団法人浜松青年会議所 第60期理事長

山崎貴裕



JCとは?

青年会議所(JC-Junior Chamber)は「明るい豊かな社会の実現」という同じ理想と使命感を持つ若い世代の人々を広く集め、友情を深めつつ、強く影響しあい、刺激あうて若さが待つ未来への無限の可能性を自分たちの手で効果的に描き出し、青年の情熱から生まれる果敢な行動を結集すべく組織された団体です。

2008年度社団法人日本青年会議所第57代会頭

小田 與之彦氏

2010年度社団法人浜松青年会議所第60期理事長

山崎 貴裕

JC運動とは

山崎 本日はお忙しい中、お時間をいただきました。ありがとうございます。早速ですが、2008年に(社)日本青年会議所(以下日本JC)の会頭、2009年には直前会頭という担いを終えられ、これまでのJC活動を振り返って、良かったことと大変だったことをお聞かせください。

小田 JCをやっていると良かったことを語り始めると、何時になるかわからないくらいなのですが……(笑)。やっぱり今日も浜松に来させていただいたように、全国と同じ世代で色々なお話ができる仲間ができたということは、本当に財産のひとつですね。私も一企業の経営者として、自分の会社を守る、成長させるというのはもちろんですが、商売とか利益とかそういうのではなく、「この国をよくしたい」「住んでいる地域をよくしたい」「子供たちが大人になった時にいい社会にしたい」など「明るい豊かな社会の実現」を目指している仲間、お金では買えないものを求めている仲間が全国に

きたことが自分にとってのプラスになりました。青年会議所内で役職に就いているかどうかとか、企業の大

小に関わらず、「スゴイ」という人がある中で刺激を受けて、自分自身も成長しなければいけない、自分自身を磨いていこうという姿勢でいることが大切だということ色々ながら教わりました。

大変だったことですけれども、会頭をさせていただいた時などは圧倒的に会社にいる時間が短くなりま

山崎 日本JCの会頭、直前会頭の担いは本当に激務だったと思いますが、ご家族のご理解はいかがでしたか。

小田 私は応援してもらっている方だと思います。メンバーの皆さんもJCの活動をする中でこんなことがあったなど家庭でも話をし、JC活動を理解してもらえればより活動もしやすくなります。それから全国各地で行われる様々な大会や会議に家族で行く事も大切だと思

山崎 JC運動は、将来自分の人生を豊かにするためそして自分の住んでいる地域社会が良くなることに繋がるものだということをもっと多くの人に知っていただきたいですね。会員拡大においてもそれらのことを伝えて多くの同志を増やしていきたいですね。



●七尾湾に隣接する加賀屋の全景



●日本人であれば一度は訪れてみたい純和風のロビー

30年連続1位の旅館

山崎 では、小田さんの会社「加賀屋」についても伺いたいと思います。30年間「プロ」が選ぶ日本のホテル・旅館100選という地位を守り続ける「加賀屋」のサービスとお客様への気配りという記事を読ませていただきました。お客様にどのように喜んでいただけるか、というのは私の仕事にも通じるものがあるのですが、「加賀屋」が番大事にされているもの、今後の戦略やビジョンなどを教えてください。

小田 何が特徴づけられるかというところ、やはりサービスを磨いていくことが大切だと思います。どんなお客様でも「加賀屋」にいらした方に



Profile

株式会社加賀屋 取締役副社長

おだ よしひこ

小田 與之彦

1968年石川県生まれ。慶應義塾大学商学部卒業後、4年間丸紅株式会社運輸部へ勤務。その後、アメリカのシェラトンホテルでの勤務を経てコーネル大学大学院経営学部へ入学。ホテルマネージメントを学ぶ。1999年株式会社加賀屋へ入社。2007年より同社取締役副社長に就任し、2008年には(社)日本青年会議所会頭を務める。

山崎 私が感動したエピソードの中で、キャンセルされたお客様が後日宿泊された際、家族のご不幸でキャンセルされたという、すぐに陰膳をご用意されたというお話がありました。そしてもうひとつ、時間帯が不規則な旅館業で働く客室係など社員さんが安心して働けるように保育園を作られたり、御膳を運ぶ重労働を考えた自動で搬送する装置を導入されたなど、社員の方への配慮が徹底されていると感じました。私も経営に携わっている中で、ごく共感できる部分があり、お客様がどう思うかで弊社の

小田 最初に申し上げたように「サービスを良くする」ということが、「加賀屋」を特徴づけていると考えているんですけど、最終的に旅館のサービスというのは人なです。ですから、まずお客様と接する社員がいい環境で働けるかということが大切です。客室係がお客様にお料理を運ぶ際に、重い御膳を持って息を切らしてお客様にお届けしたらいくら笑顔を作っているてもどこか顔に出てしまっているじゃないですか。それよりも裏では自動で料理が運ばれて客室係は疲労困憊しないお客様へ笑顔でお届けする方がお客様も気持ちいいしサービスになりますよね。そしてお客様と一番接する社員こそが必要とするサービスを感知取ってそれをして差し上げられるので、裏の部分は省人化しながらも表の部分では活人化で人を活かしているかと思っています。保育園も同じなのですが、男性も女性も一番の働き盛りというのは20代の半ばくらいから40代だと思うんです。特に女性は働き盛りでもあり子育て世代になりますよね。客室係の女性など旅館の忙しい時間にお子さんのことを気にしながら働いてもらっているのではなく、お子さんはしっかり



Profile

有限会社春華堂

やまざき たかひろ

山崎 貴裕

株式会社うなぎバイメ舗 取締役副社長

1974年静岡県浜松市生まれ。大学卒業後、(有)人形の甲世にて商売の基本を修得し。2001年(有)春華堂に入社。2005年に竣工され、現在は年間50万人以上の来館者を数える「うなぎバイファクトリー」の企画、立ち上げに携わり、浜松の産業観光スポット化に寄与。2010年には(社)浜松青年会議所第60期理事長に就任。200名のメンバーと“笑顔溢れるまち浜松の創造”に向け「人づくり」「まちづくり」に取り組む。

小田 青年会議所においては、会頭や理事長は責任が重い立場ではありますが、その役職にいるからこそ1年間でどれだけ成長できるか、成長するために努力している姿を周りの人に見せられるかどうかで周りのメンバーが共感してついてくるのではないかと思います。これをJCの中で努力を続けるだけという立場でも、努力を続けていただけて、次世代に文化や伝統を引き継ぎながら、笑顔溢れるまち浜松の創造をしていきたいと思っています。

山崎 そうですね。青年会議所において理事長はもちろん副理事長、委員長についても同じですね。やっぱりリーダーが先頭に立つて引っ張っていく姿を見せなければいけないと思います。私は第60期を迎える浜松JCの理事長として、2010年は「温故創新」をテーマに掲げています。古きものを大切にしながら、新しいものを取り入れていくこと。変えてはならないもの、変えなければならぬものを確かな眼でしっかりと見定めて、次世代に文化や伝統を引き継ぎながら、笑顔溢れるまち浜松の創造をしていきたいと思っています。

お預かりしますから、安心して働いてください。という思いで始めました。年齢的にもいいサービスを提供してくる世代の方に残っていただけというというのは、最終的にお客様へのサービス向上に繋がっているのではないかと思います。陰膳も生前のご家族を思い出しながら過ごしていたのだと思います。ですから社員がそういった配慮ができるように、バックアップしていくのが私の役割だと思っています。

山崎 私も新しい取り組みを考える中で参考にさせていただきたいと思っています。また2007年3月の地震の時、営業ができない間に社員さんを集めて「解雇しないから……」とおっしゃられたそうですね。

小田 そうですね、2007年3月の地震の時は35日間営業ができませんでしたが、建物はその間に修復しましたが、35日間営業しないということは売上げもその分ないわけですし、自分たちはどうなるのかと社員は不安になりますよね。私も経理や人事担当者で相談しましたが、35日休業した後も今までと同じペースでお客様に來ていただけたら何とかなるということでも、誰も解雇しないということも伝えました。その時にお客様に來ていただけたありがたさを体感したのか、社員同士で來ていただいたらもっといいサービスをしようとか自主的にサービスのロールプレイングをしたりとか、街中の清掃活動をしたり、地震の被害がひどかった所へお見舞いに行ったりなどをしていました。

山崎 営業が再開されるまでの間、待機している社員の方が自主的に勉強されていたという話も伺いました。

小田 清掃活動もそうですが、つい慣れてしまっている機の開け閉めなどのマナーをもう一度社員同士で見直したり、長い目で見たら社員と会社が一体となるいい機会だったと思います。



2010 HAMAMATSU JUNIOR SHIP はままつ少年の船

乗船期間 **2010年3月21日～23日**

主催 社団法人浜松青年会議所 後援 浜松市・浜松市教育委員会／中日新聞東海本社／静岡新聞社・静岡放送／ケーブル・ウィンディ



2010年も明け、あと数カ月もすると学生の皆さんは春休みを迎えます。春休みといえば、そう、今年も「はままつ少年の船」を実施することになりました！私たち浜松青年会議所が例年行っているこの事業は、地域の未来を担う青少年を育成する事業として少しずつ地元の皆様にも認知されるようになってきました。毎年募集を開始すると「去年も乗って楽しかったのでまた乗ります！」というリピーターや、「一年ずーっと待っていました！」などという嬉しいお申し込みもたくさんいただきます。今年もご期待に添えるよう、実り多い事業にしていきたいと思ひます。

そして今年も第20船目の記念すべき年でもあります。伝統はしっかりと受け継ぎながらも、新しい試みも行います。まずは特別講師として海洋冒険家の白石康次郎さんに一緒にご乗船いただき、子どもたちに「夢中になる事の大切さ」を肌で感じ取ってもらいます。また、船上からラジオの生中継を行う予定です。家で待つ保護者の皆さん、地域の皆さんに子どもたちがどんな研修をして、何を感じているかを生でお伝えしたいと思っています。

日程は3月21日(日)～23日(火)となります。子どもたちと一緒に乗船し、一緒に研修していただくチームリーダーの方も募集しています。インターネットで「はままつ少年の船」を検索してください！沢山の皆様のご乗船をお待ちしております！

特別講師 乗船



海洋冒険家 白石 康次郎

20船記念の今回は、特別講師に海洋冒険家の白石康次郎さんがみんなと一緒に乗船します！本物の冒険家と一緒にいろいろな研修にチャレンジして、君も夢中に冒険してみよう！

Profile	神奈川県鎌倉市出身
■1993～94年	Spirit of yukohにて世界最年少単独無寄港世界一周達成。(176日間)
■1997年	「レイドゴロウズ」南アフリカ大会出場。日本人最高11位
■1999年	「伊豆アドベンチャーレース」プロテウス
■2006～07年	「VELUX 5 OCEANS」クラス1 2位入賞
■2008年	双胴船(Gitana13)にてサンフランシスコ～横浜間の世界記録更新

船の中では楽しい研修がいっぱい！



放送日

3月22日 12:00頃
17:00頃
23日 12:00頃
日時変更する場合があります。



少年の船初！船上からラジオ生中継！

石川県七尾市

石川県七尾市は能登半島の中程に位置し、古代より能登の政治・経済・文化の中心地として発展を続けてきました。また、渚のいで湯として全国的に有名な和倉温泉や、様々なリゾート施設を有する能登島をはじめ、観光資源にも非常に恵まれた、魅力あふれる市です。

山崎 社員を大切に思うというのは、弊社の社長も同じところがありまね。工場などで自動化が進むと、どうしてもそれまで働いていた人の数が必要なくなってきます。効率化するのはいいけれども社員の数を減らさない効率化をしよう、というのが社長の思いで……。正直初めはどうしたらいいのかわからなかったのですが、知恵を絞ることになったのがたくさんありました。例えば自動化した分、注意して見なくてはならない場所も増えてそちらに人員を配置しました。社員を思いながら売り上げをのばしていくことの大切さを勉強しましたし、今では社員も喜んでくれています。

小田 そうですね。社員の定着というのは企業にとってすごく大切ですよね。やっぱりひとり一人の能率も上がりますからね。

小田 石川県は年々雪が減っていますが、それでも年に1度か2度大雪が降るんですね。交通にも支障が出て、どうしてもお客様の到着が遅れるんですね。玄関の前には雪がごんごん積もってきますし……。そういう場合にも、社員たちが自主的に玄関の雪かきをしてくれて、料理人は深夜に到着したお客様のために軽食を用意しているんですね。「こんな時間まで悪いね」と社員に声を掛けると、「何を言ってるんですか、こんな時間でも加賀屋に泊まるうと思っただけなんですから！」と答えてくれる社員がいるものですから、本当にありがたいと思いますね。

山崎 JCも似た部分があるなと思うました。困った時は誰かが助けてくれるというのは、JC内でもしっかりと信頼関係が築けている証だと思ひますね。

社員の幸せ 社会への貢献

山崎 社員に対して常におっしゃっていることは何ですか。

小田 加賀屋のモットーは「笑顔で気働き」。常にお客様に対して気持ちを含めて何かをして差し上げるという姿勢を忘れてはいけないと社員に対して言っています。またサービスというのはどういうことか。加賀屋では「サービスはプロとして訓練された社員が、お給料をいただいてお客様のために正確にお役に立って、お客様から感激と満足感を引き出すこと」と定義付けしています。そしてサービスの基本は「正確性とホスピタリティ」。正確性は当然のことが当然にできることですが、そこに思いやり・労りの気持ち「ホスピタリティ」がないとサービスにはなりませんからね。この2つがないとダメだということは常々言っています。

山崎 小田さんも私も同じように親の職業を継いだ形になりますが、今

後引き継いでいくもの、また新たに取入れていきたいものがありまして教えてください。

小田 私の場合は、お客様と社員を大切にすること、そして何よりお客様のご満足を最優先にというのはサービス業である以上変えてはならないものだと思います。旅館というのは家族でやっている、家業というのが元々です。ですからどうしても小田家の旅館という色が濃いですね。それがお客様に対するおもてなしに繋がっている部分が多いですから、そのようないい所・家族的な温かみのある旅館、社員にとっては温かみのある会社という面は変えてはならないと思います。しかしとすると、加賀屋が小田家の所有物のようになってしまいう側面もあります。オーナー企業ですけれども、小田家の私欲が出ないように経営していくということが大切なのではないかと思います。私欲よりも加賀屋を通じてお客様の幸せ、社員の幸せ、社会への貢献というものを求めているかなければいけない。透明性が高くて社員が誇りに思える会社というのが一番大切だと考えています。サービスについては置いただけではなくベッドになるなど機能的にはホテルに近づこうなところはあります。高齢の方ほどベッドを希望さ



れたりですとか、掘り炬燵をご遠慮されたらすとか、これからそのようなニーズが増えてくると思いますので常に変えていかなければいけないと思いますね。

山崎 私の場合は、社員が家族的な感覚を持つてくれている会社であるということに誇りを持っています。社員もパートもアルバイトも皆同じだという社長の思いを引き継いでいきたい、そして経営者の立場として社員が誇りを持てる会社を維持していかなければならないと思っています。そのためにはお客様にいい商品を提供し続けること、社員が働きやすい社内環境であることが大切だと思います。私欲を増やすのではなく、社員の幸せのために責任を持って経営しながらこれから50年100年続く会



●対談の全内容はHPに掲載しております。ぜひご覧ください。http://www.hamamatsujc.or.jp/

社にしていきたいですね。チャレンジという意味では、祖父がうなぎパイを作り、父が会社を大きくしてくれていますので、自分としても何かひとつ勝負して勝ち抜きたいという思いはあります。

山崎 それでは小田さんから浜松JCメンバーと読者にメッセージをお願いします。

小田 富士山静岡空港から小松空港まで飛んでいますから、是非石川県へお越し頂ければと思います。

山崎 本日は遠い所お越しただきましてありがとうございます。これからも浜松を第2の故郷としていつでもお越しいただきたいと思っています。

活動
報告

第1回 献血推進活動

2010年
1月11日(月・祝)



(社)浜松青年会議所では年に4回、社会貢献の一環として献血推進活動を実施しています。平成21年度には、静岡県献血推進大会において日本赤十字社有功賞銀色有功賞を受賞いたしました。この賞は献血推進に積極的な協力を行い、かつその活動が15年以上継続している団体に送られるものです。献血推進活動は、移動献血バスによる1日の活動で、メンバーが積極的に献血、そしてPR活動をしています。血液は人工的に作ることも長期間保存することもできません。医療機器等は日進月歩の進歩を遂げ設備は素晴らしいものが続々と開発されておりますが、その設備も輸血用血液がなければまったく役に立ちません。地域の医療・福祉を支えるために2010年も1月11日(月・祝)、そして4月、7月、10月に積極的に献血推進活動を行って参ります。

浜松交響楽団

第68回 定期演奏会

日 時 2010年4月18日(日)
開演時間 14:30(予定)
場 所 アクトシティ浜松 大ホール
指 揮 松尾葉子 チェロ: 中木健二

曲 目 チャイコフスキー 交響曲第5番 木短調
エルガー チェロ協奏曲 木短調
ロッシーニ 「ウィリアム・テル」序曲



浜松交響楽団は、昭和51年(1976年)に設立された浜松のアマチュアオーケストラです。昭和53年(1978)年には財団法人格を取得し、日本唯一の財団法人であるアマチュアオーケストラです。浜松市民のオーケストラとして、「オーケストラ教室」「浜松市制記念演奏会」「年2回の定期演奏会」と他2ステージの計6回の演奏を年間の基本の行事として活動しています。

【お問い合わせ】(財)浜松交響楽団事務局
TEL:053-432-8036 浜松市中区東伊場 1-3-1
グランドホテル浜松 3F URL: <http://www.hamakyou.jp/>

地域情報発信

浜松が舞台、「教育」を考える青春映画!

浜松・浜名湖
を舞台に
映画をつくろう!!

書道♥ガールズ

おそらく、こんな経済不況の下、馬鹿なことをという声が聞こえてくるのは、想像に難くありません。しかし、こんなご時勢だからこそ、今の社会に、今の浜松に、今の時代にメッセージを届けるプロジェクトを立ち上げました。映画のテーマは、浜松がめざす教育・道徳の精神。こどもの教育を一番大切に、地域が子供を育てる、学校や教育に対する親と子供へのメッセージを、「書道」という題材を通して、子供たちへ、親たちへ、先生に、地域に、そして全国に、世界にむけて発信していきます。浜松は知る人ぞ知る書道が盛んなまち。私立高校には書道専攻コースが2校もあり、市内には400を越す書家の先生が書道教室を開いています。お手本を見て、綺麗な字を書くことは、習字。これは書道の基本ではあるが、本来の書道は美しい字を書くことより、自分の気持ちがかもった文字を書くことが大切なのです。ナンバーワンではなく、オンリーワンということ。本当に大切なのは、自分なりの価値観を見つけ、オリジナリティを持ち、自分の思いをいかに表現して伝えるのが重要なのです。メールやインターネットでしか、気持ちを伝えられなくなっている現代の子供たちに、われわれ教育を担う親の世代がどう考え、何を伝えるべきなのか?「書道♥ガールズ」のテーマはそこにあるのです。音楽のまち浜松から新たな文化・芸術の香りを発信できる浜松へ。子供たちの未来のため、明るい豊かな浜松の実現への思いもこの映画にのせて、伝えていければと思います。

浜名湖えんため代表 稲葉大輔



開催事業案内

2010 年度の浜松青年会議所の活動の一部です。

こんな活動も
しています!

活動
報告

新年賀詞交歓会



2010年1月6日18時〜グランドホテル浜松 鳳中の間にて、2010年度新年賀詞交歓会が開催されました。来賓の川勝平太静岡県知事、鈴木康友浜松市長、(社)日本青年会議所東海地区協議会松島会長にご挨拶をいただき、またオープニングでは遠州浜名太鼓の演奏で始まり、浜松学芸高等学校のみなさまに新春書初めを行っていただきました。式典の中では(社)浜松青年会議所第60期理事長 山崎貴裕より「笑顔溢れるまち浜松の創造」というスローガン・2010年度基本方針の説明がありました。およそ400人の皆様にご参加いただき盛大に行われました。皆様本当にありがとうございました。

公開
例会

次世代創造フォーラム2010 ～夢を叶える7つの法則～



2010年2月18日(木) 19:00〜グランドホテル浜松 鳳中の間にて一般公開例会「次世代創造フォーラム2010～夢を叶える7つの法則」を開催いたします。パネリストに、「開運!なんでも鑑定団」に出演されている、おもちゃ博物館館長 北原照久氏。日本人で初めてエンツォ・フェラーリのデザインを手がけたKen Okuyama Design代表 奥山清行氏。コーディネーターには、静岡県ニュービジネス協議会副会長で株式会社アルモニコス代表 秋山雅弘氏をお招きし、(社)浜松青年会議所 山崎貴裕理事長を交えての公開例会を開催いたします。各々の分野で成功を収めたパネリストの方々が、実体験から学んだ夢の叶え方をお話いただきます。本会は入場無料ですが、事前申し込みが必要です。お申し込みは浜松青年会議所ホームページよりお申し込みください。

日 時 2010年2月18日(木)
19:00〜21:00(18:00開場)
場 所 グランドホテル浜松 鳳中の間
入場無料 ※事前申し込みが必要です。
申し込み方法:浜松青年会議所HPより
応募期間:2010年2月2日(火)まで。

活動
予定

わんぱく相撲

県大会



5月16日(日) 遠州浜海浜公園内相撲場に於きまして、わんぱく相撲浜松場所が開催されます。伝統武道を通じての熱い取り組みは勝敗に関係なく礼儀を学び、喜びを学び、悔しさを学び、わんぱく力士達のこれからの成長の糧となり、地域の発展性へと繋がることでしょう。浜松場所で好成績を収めたわんぱく力士は、県大会(6月20日)に出場し、さらに県大会を勝ち上がると両国国技館で行われる全国大会へ出場します。経営者育成委員会は全力でサポート・運営してまいりますので、メンバーのご家族様、お知り合いのお子様達に是非ご参加いただけますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先: 浜松青年会議所 経営者育成委員会 TEL.053-454-6721



浜松青年会議所 新会員募集中

JCは「まちづくり」「ひとづくり」に一生懸命取り組んでいます。

(社)浜松青年会議所では、2010年の新入会員を募集しています。

「明るい豊かな社会」の実現を目指す青年会議所運動の基本は、地域の産業を担う青年経済人が人的ネットワークを広げ、さらには青年会議所の各種事業を通じて切磋琢磨し、厳しい経済情勢の中でも力強いリーダーシップを発揮できる“人財”を育てることにあります。「一人でも多くの、志を高く持つ仲間に出会いたい!」との一念で会員拡大事業に取り組んでおります。メンバー一同、共に夢を語り合える仲間として青年会議所の扉を開いて頂けることをお待ちしております。

JCってなに? What is JC

青年会議所は、活動の基本を「奉仕」「修練」「友情」に置き、会員は「明るい豊かな社会を築き上げること」を共通の理念としております。また会員相互の啓発と交流を図り、公共心を養いながら、地域社会の反映と平和に貢献することを目的としています。



会員の入会資格

- 1 青年会議所の目的と意義に共鳴し、自発的な意思と情熱を持っていること
- 2 浜松市及びその一円に居住する満20歳以上40歳未満の品格ある者であること
- 3 最低月1回開かれる例会と委員会に出席できること
- 4 健全な社会人としての教養と良識のある方で正常な事業に従事していること

お問い合わせ

社団法人浜松青年会議所 会員拡大委員会

〒432-8036 浜松市中区東伊場1-3-1 グランドホテル浜松内
TEL.053-454-6721 FAX.053-455-3563
E-mail: room@hamamatsujc.or.jp

ホームページもぜひご覧ください!

<http://www.hamamatsujc.or.jp/>

浜松JC

検索



A merit of JC JC入会のメリット

JCに入会すると何が得られるの?

「仕事が忙しくて時間がない」と思っている方こそ入会によって得られるものは多いと言えます。社会人にとって時間のコントロールほど難しいものではありません。自分は時間の使い方が上手なのかを知り、さらに上手になるには簡単な方法があります。それは自分よりも上手な人に出会い、一緒に活動して学ぶことです。新たな自分の発見。良い影響を互いに与え合う人間関係。自分の仕事にフィードバックできる活動。そこにJCのよさがあります。

高校生・大学生のみなさん

地域に発信したい
情報はありませんか?



(社)浜松青年会議所では、年3回広報誌『JC-wave』を発行します。

本年度からはより地域の情報を発信する為、5月号・9月号では地域の高校生・大学生からの記事を募集し掲載して行きます。

つきましては、下記の要綱の通り記事を募集致しますので、ご応募よろしくお願い致します。

- 1 記事提出期限 **5月号 平成22年4月9日(金)** **9月号 平成22年8月6日(金)**
- 2 記事提出先 (社)浜松青年会議所広報委員会 ※応募に際してはホームページよりお願いいたします。
- 3 募集記事内容 浜松市内でのイベント情報または浜松市に関する情報発信

・掲載内容は、イベント等の名称、日程、開催場所、連絡先、企画内容をホームページよりお願いします。

※尚、応募多数の場合には、当方にて厳選な審査の結果広報誌に掲載させていただきます。



編集後記 EDITOR'S NOTE

2010年度第1号となる「JC-wave 1月号」はいかがでしたでしょうか? 山崎理事長の下2010年度(社)浜松青年会議所の運動がスタートしました。我々広報委員会も市民の皆様とともに“笑顔溢れるまち浜松の創造”に向け、様々な情報・明るい話題をこの『JC-wave』で発信して行きたいと思っております。1年間どうぞよろしくお願い致します。次号は5月発行予定です。

広報委員長/竹内一 広報委員会/石野順司、藤田真一、飯田康人、萩田智之、東秀行、岡島英樹、加藤守啓、斎藤憲太郎、仲山端也、白都剛史、山本昌義